

平成 21 年 9 月 24 日

武庫川流域委員会  
委員長 松本 誠 様

武庫川流域委員会  
委員 伊藤益義

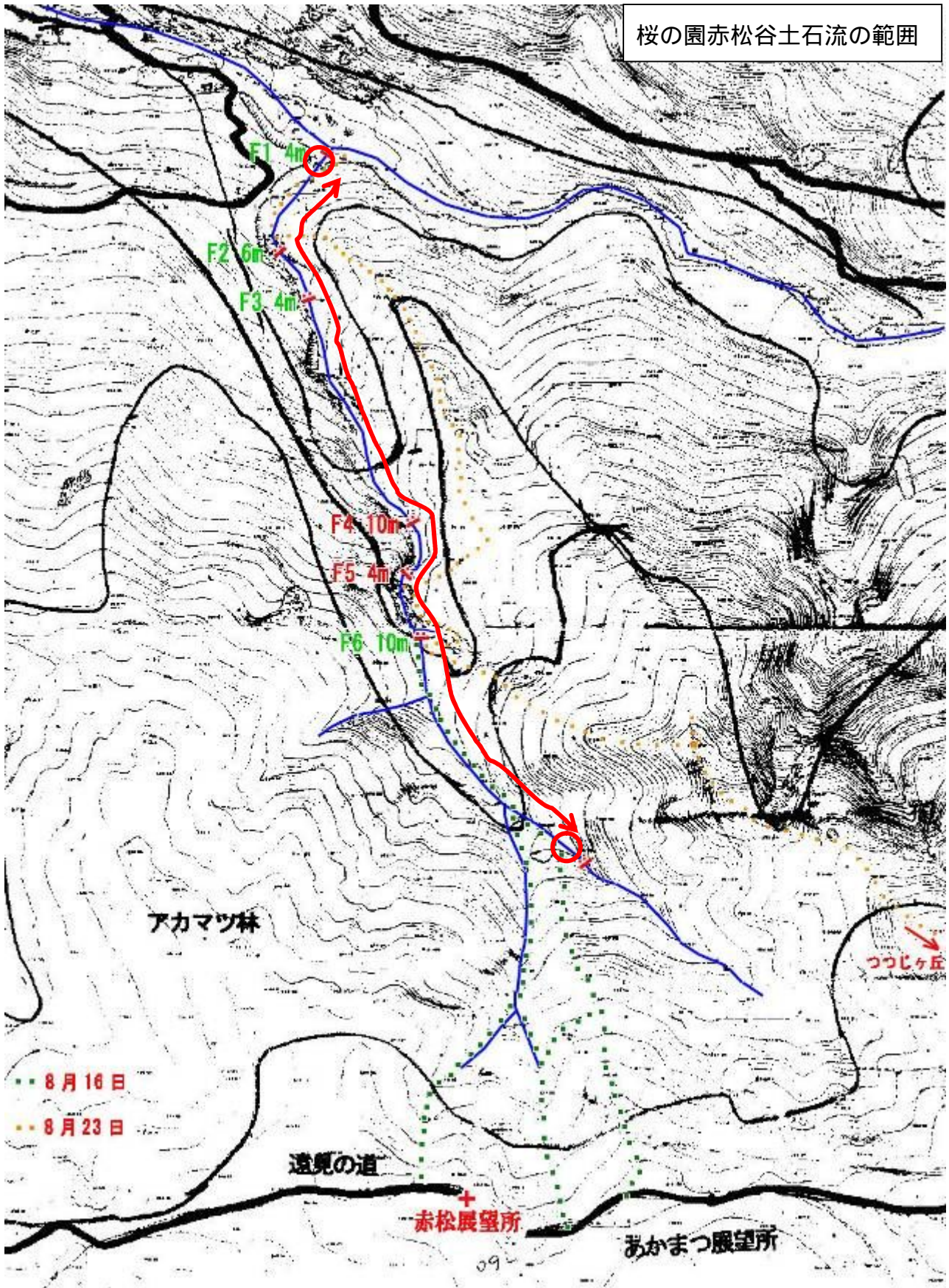
第 9 2 回運営委員会提案「武庫川渓谷の山腹崩壊対策」

8 月 1, 2 日の武田尾地区集中豪雨により、桜の園「亦楽山荘」園内で約 3 0 0 m にわたり山腹崩壊による土石流が発生し、立木、土石を下流に押し流しました。現場は V 字谷が U 字谷になり、立木のほとんどは桜の園入口に J R が設置した防護柵によって武庫川本川への流入が止められました。この山腹崩壊の状況を見る限り、本川において計画されているダム の 湛水時に桜の園の地質構造が同一の武庫川渓谷の山腹が崩壊の恐れがあると考えられます。もしダム計画が進行する場合はこの点についても検討をお願いします。

山腹崩壊(一部)



桜の園赤松谷土石流の範囲



桜の園土石流 090802

赤松谷 F 6 下から



赤松谷 F 1 上流



赤松谷 F 5 左岸



本谷と赤松谷出合(右は F 1)



赤松谷



武庫川本川土砂崩落地  
(長尾山第1トンネル上流右岸)他に1箇所

